



らいおんぐみだより

尚徳福祉会 坂戸保育園

12月

ひめりんごを友だちと拾い集め、ひめりんごのケーキを作っていたり、お皿の中に水を入れてきれいに洗っている。「なにをしているの?」と聞くと「ひめりんごを育ててるの!」と教えてくれました。発表会ごっここの練習をしながらも、散歩に行き冬の自然やイベントを楽しみ過ごしていきたいと思ひます。

12月生まれのお友だち

おたんじょうびおめでとう

歌・合奏

今年の歌は「おどるぼんぽこりん」合奏は「ビビディ・バビディ・ブー」に決まりました。子どもたちもよく知っている曲なのですぐに覚えていました。歌では2番の歌詞の「キヨスクは駅の中」という所が難しくても「フンフンフー♪」とごまかしてしまう子や歌うことに真剣で、えんぴつのように「ピーン!」と立ちながら歌っていましたが歌の間に手拍子を入れたりして楽しく歌っています。

合奏ではまず、どの楽器がどんな音がするのか触っていき、自分のやりたい楽器を選びました。友だちと重なることもなく、全員がやりたい楽器を選ぶことが出来ました。2、3回全員で合わせた時からみんなの息があっていたので、ちょっと難しいことに挑戦をしてみました。2、3種類の楽器ごとでソロパートの部分を作ってみました。全員で揃える2番の入りが難しく練習を重ねて頑張っています。



劇あそび

「ポップとタップの大冒険」という作品を今回は選びました。絵本がない作品だったこともあり、役ごとに台本を作り普段から読めるように、お部屋においていました。「先生!読んでもいい?」と何人かの子どもたちで集まって読んでいました。どんな役があるのか、子ども達と話し合い決め、初めはみんな下を向いて台本を見ながらセリフを言っていました。練習を重ねていくことで自信がつき、総練習1回目の時から台本を見ずにやってみました。そしたら、自分の役のセリフだけではなく、友だちのセリフも覚えて困った時に、助け合ったり声や仕草、動きも子どもたちと一緒に考えながらやってきました。きりん組に劇を見てもらった時には緊張して声が小さくなって恥ずかしがる姿がありましたが、少しずつ笑顔が出て劇を楽しみながら演じることが出来るようになってきました。